



5あき字第2766号
令和6年3月28日

東京都立あきる野学園校長
伴 光明

令和5年度東京都立あきる野学園学校経営報告

令和5年5月、社会生活は感染症対策を行き届かせた「新しい日常」の次の段階に入り、学校教育においても平時の感染対策を講じた上で、躊躇することなく大集団で活動したり、地域と往来したり、といったことに取り組むことができるようになった。児童・生徒にとっては活動の拡大が図れ、その保護者にとっても我が子の活動の様子を直接見る、共に学ぶ仲間の様子も知ることができるとなり、学校がもつ本来の機能が戻ってきたことを嬉しく思う。

コロナ禍は一面では情報通信技術の活用を促進することともなった。義務教育段階の「GIGAスクール端末」や東京都が進めるスマートスクール構想による高等部での一人1台端末の活用が進んできたところであったが、今年度は授業をはじめとする学校生活の中で児童・生徒が端末に触れる機会が各段に増えた。見学に訪れた情報教育の関係者が生徒のタイピングの速さ、正確さに驚くほどであった。保護者とのコミュニケーションにもICTの活用を進め、簡便な回答フォームを使った学校評価では多くの回答を得ることができた。

教科学習の充実を目指す研究活動は、★生活科、★社会科、★理科等の教科において（★は学習指導要領に示される「知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科」であることを示すために当研究の中での呼称）単元指導計画、単元配列表を作成した。今後は知的障害教育部門での実践を深め、カリキュラム・マネジメントの視点で展開の充実、計画の改善を図っていく。肢体不自由教育部門においても単元指導計画を共有し、学びの連続性を実のあるものとしていく。並行して、一人一人の「キャリアパスポート」を作成し、児童・生徒の願いや学びの過程をたどれるようにしているところである。これらを活用し、子供を真ん中に置いた支援、育成の充実を学校と保護者とで進めていきたい。

4市1町1村の広い通学区域であることを踏まえ安心・安全な通学手段の確保に腐心してきたところであるが、一部には連絡が行き届かなかったり、改善意見をいただいたり、ということがあった。できること・できないこと／学校の役割・保護者の役割をいっそう丁寧に確かめ合って、児童・生徒の実態に応じた手立てを講じていきたい。

5類移行を受け、保護者の来校機会の拡充、関係機関との直接往来、交流校との直接交流等が進み、関係した方々からは満足、充足という声が聞かれた。近年獲得してきたオンライン技術等の利点も活用しつつ、よりよい連携を目指したい。

体育活動や文化活動においては、「あきる野学園スポーツフェスティバル」「ふたば祭」の二大行事における児童・生徒の活躍はもとより、学校外の大きな大会に出場、出展するなど積極的な姿勢で臨んでくれたことは嬉しい限りである。都大会での上位入賞や、全国障害者スポーツ大会での金メダル獲得、総合文化祭プログラムの表紙を飾るなどの結果がついてきたことは、意欲的な生徒の姿勢と教員の指導が合致してこそである。

「東京都特別支援教育推進計画（第2期）第一次実施計画」（平成29年2月）に基づく増改修工事は、増築棟の竣工をみた。工事期間中の不便さにご理解をいただいた方々に感謝するとともに、安全に工事が進んだことをご報告申し上げます。同計画におけるグラウンド整備工事と既存校舎の旧厨房、食堂部分の工事が引き続き行われる。引き続きのご協力をお願いしたい。

これらの実績を挙げてきた教職員の献身的な働きぶりには、校長として心から感謝し、労いたく思う。一方で教職員の働き方改革は当校においても重要な課題だと認識している。校内においては月ごとに勤務時間の超過数をグラフ化するなどして、時間管理の意識化を図ってきた。効率性や達成感の状況などに着目した改革を進めていきたい。

新校長着任の経営計画であり、重点目標の設定等について実情にそぐわないこともあったことは反省材料である。学校運営連絡協議会からのご指摘も踏まえ、新経営計画に反映させていきたい。

重点目標と方策(数値目標)とその達成状況

項目	内容	数値目標	達成状況
1 人権尊重教育の推進	人権教育に関する研修会の実施	学期 1 回以上	○
	児童・生徒の人権に配慮した指導の実施	学校評価 90%	○ 92.1 梨
	児童・生徒アンケート及び聞き取り調査によるいじめの実態把握	年 1 回以上	○
2 保護者と共に考える教育の充実	個別指導計画の書式の改善による外部専門員(家)やアセスメントの反映	学校評価 85%	○ 92.8 梨
	保護者の学校評価アンケートの回収率	85%以上	○ 89.6%
	引継ぎシートの活用と引継ぎ会の実施	学校評価 85%	○ 92.2 梨
3 教科学習の充実・障害特性や個に応じた教育の推進	教員一人が一単位時間以上の授業の校内公開(授業を見合う会)	100%	○
	全ての児童・生徒の指導に活かすためのアセスメントならびに「各教科のチェックリスト」等の実施	100%	△一部未実施
	障害特性に応じた教育の充実	学校評価 85%	○ 89.4 梨
4 キャリア教育の推進と地域との連携の充実	全ての児童・生徒に「キャリアパスポート」の作成	100%	○
	キャリア教育の推進	学校評価 85%	○ 85.1 梨
	企業就労を希望する生徒の企業見学や実習の実施	希望者 100%	○
	ホームページの定期的な更新	年間 48 回以上	◎ 93 回
5 教育の新時代へ向かう準備と実践	感染症の流行状況に応じた適切な対策を推進し、安心・安全な宿泊行事・校外学習・学校行事の実施	学校評価 85%	○ 88.3 梨
	机上の学習機会において、全ての児童・生徒が一人 1 台端末を活用した授業の経験	100%	△一部未実施
6 増設工事の実施	教育庁所管課と連携し、確実な施行、完成までの安全な登下校	工事にかかわる事故「ゼロ」	○
7 安全・安心な教育環境、施設設備の整備充実と校舎の老朽化への対応	児童・生徒の安心な登校	学校評価 85%	○ 94.4 梨
	摂食指導、アレルギーに関する研修会の実施	年 3 回以上	○
	医療的ケア及び重度・重複障害のある児童・生徒に関する研修会	年 3 回以上	○
	ヒヤリハット事例を活用した事故防止研修会の開催	年 2 回以上	○
8 体力の向上や文化的活動の活性化に向けた指導の充実	障害者スポーツ大会等への参加	2 大会以上	◎ 肢：個人全国進出 団体部 4 位 知：個人都上位入賞
	全国特別支援学校文化連盟文化祭や東京都特別支援学校総合文化祭、アートプロジェクト展等への作品出展	8 作品以上	◎ 24 作品 総文祭プログラム表紙採用
9 教職員がチームとして力が発揮できる組織運営と教員の働き方改革の推進	クリーンデスク達成率	100%	△81.8 梨
	自律経営推進予算の有効活用、センター契約の高執行率の維持	50%以上	○58%